



つくば市国際交流協会ニュースレター

# Link!

## 第4号

### Contents — もくじ —

- P1 **Hot Topic!**  
国際交流フェア 2016
- P2 インタビュー企画「種まく人」  
REAL ENGLISH 上堂 蘭 アンさん
- P3 **ZoomUp!**  
① 交流会  
② 田植え体験
- P4 Reports & Notice Board

# Hot Topic!

## 国際交流フェア2016

**平**成28年6月4・5日につくばフェスティバル2016がつくばセンター広場・大清水公園を会場に開催され、つくば市国際交流協会は、つくばセンター広場にて国際交流フェア2016を同時開催いたしました。

国際交流フェアは、国際協力や国際交流の体験を来場者に提供し、同時に、出店者と来場者のコミュニケーションを通して、双方に国際交流の楽しさややりがいの芽を育てていただくことを第一の目標にしております。

参加していただいた団体には、各国の文化を象徴するような食品や物品の販売、特設ステージでの演奏やダンスを通して、国際交流に御協力いただきました。参加団体の国は、日本を含めて20ヶ国あり、その他に、外国人学校が4校参加いたしました。

各国の食品・物品を販売するブースでは、お昼時に特に賑わいを見せていました。また、ステージ発表も、多くの方に見ていただくことができました。素敵な音楽や目を引くきらびやかな衣装を目にして、足を止める方も多数いらっしゃり、はじめから終わりまで、客席には人があふれていました。

来年の国際交流フェアにおきましても、来場者・出店者・ステージ出演者等、関わる人全てに楽しんでもらえるような有意義なフェアになるように、努めていきたいと思っております。

	参加団体	参加国
ブース	24 団体 (2)	フィリピン・タイ・フランス・スリランカ・ケニア・パラグアイ・イギリス・トルコ・インドネシア・アルゼンチン・インド・パキスタン・セネガル・モンゴル・ロシア・韓国・日本 (17ヶ国)
ステージ	11 団体 (5)	朝鮮・インドネシア・パラグアイ・セネガル・韓国・エチオピア・ブラジル
エンジョイ・ザ・ワールド	2団体	筑波大学の留学生グループ
科学にチャレンジ	1団体 (1)	ブラジル

( )内は外国人学校





## REAL ENGLISH 上堂 蘭 アンさん

種まく人 ~Seedfolks~

つくば市国際交流協会で開催する英語観光ガイドボランティア養成講座や医療通訳養成講座で講師を務めてくださるなど、様々な活動に御協力いただいている上堂蘭アンさん。そんなアンさんに、お話をうかがいました。

### 私の歩み

私は、オーストラリアの人口3万人程度の小さい田舎町で生まれ育ちました。中学生の頃に教師になりたいと思いましたが、実際に小学校で教えるという体験学習を通じて「学校の先生」は自分には向かないと思いました。大学ではビジネス学を専攻しました。ビジネスで進んでいる日本に興味を持ち、日本語を学び始めました。コミュニケーションをとるための日本語を学ぶことが、楽しく感じるようになりました。

大学終了後に故郷の町で、病気のために十分に学ぶ機会のなかった大人の女性に、算数と英語の勉強を教えるボランティアをしました。はじめて大人に教えるという経験を通して、シンプルですがとても重要なことに気がつきました。英語は「使うもの=道具」だということです。英語を適切に使うことができなければ、文字が書けない、読めない、仕事につけない、自分の子どもに絵本を読んであげることでもできません。そんな活動をしながら、日本への興味を持ち続け20年前にはじめて来日しました。日本で英会話学校の教師として働くことになりました。このような歩みを通じて、相手が日本人でもオーストラリア人であっても、英語を勉強することが目的なのではなく、何かを達成するための「道具としての英語」を教えたいと強く思うようになりました。



### つくば市国際交流協会との関わり

私は14年前(2002年)につくば市にきました。国際交流協会(以下TIA)との出会いは、当時TIAが行っていた交流の場である「チャットサロン」でした。先にボランティアをしていたアメリカ人の友人からTIAの活動を教えてもらいました。私は教えることが好きで、英語という道具が使えますから、文章の翻訳や校正の活動からはじめて、次第に英語の講座を教えるようになりました。

つくば市は国際都市と言われていています。仕事に英語を必要とする人も多く、思うように英語ができずに苦しんでいる日本人の方とたくさん出会いました。私が強く伝えたいことは、自分のせいで英語ができないと責めないでほしいということです。コミュニケーションを取るだけなら、難しい表現をする必要はなく、ショート・シンプル・クリアーな英語で通じます。英語はあくまで世界とつながっていくための、何か目

的を達成するための道具に過ぎないのです。

### 養成講座を通じて目指すもの

英語の講座を教えるようになって、次第に興味を持つようになったのは、医療通訳の養成と観光ガイドボランティアの養成です。

まず、医療通訳からお話します。言葉も文化も違う外国で医療を受けるというのは、患者にとっては、とても怖いことです。現場の医療従事者は、外国語ができない場合が多いので、患者とコミュニケーションがうまく取れずに、患者が怖い思いを抱き続けていることを、とても残念に思っていました。私自身は漢字の読み書きが十分にできないために、医療通訳になることはできませんが、英語を教え、医療通訳を育て、患者と医療従事者を繋ぐことで、コミュニケーションが円滑になり、患者の不安が軽減できると思ったのです。

英語観光ガイドボランティアについては、日本は4年後に東京オリンピックを控え、多くの外国人が訪日するまたとない機会となっています。私の大好きな日本やつくば市がおもてなしのできる、外国人にとっても魅力ある街だと伝えたい気持ちがあります。

どちらも、根底には、言語が障害となって人と人との繋がりが阻まれないように、円滑なコミュニケーションを通じて、人同士やその人が持つ知識や技能を伝えたいという強い思いがあります。

### 国際交流を目指す人へのメッセージ

国籍や言葉は関係なく、誰でも自分ができることを通じて、地域や人のために貢献できます。自分に自信をもって行動してほしいです。自分は英語がうまくないなどと思わないで下さい。多くの人に通じる英語とは、難しく凝った表現ではなく、ショート・シンプル・クリアーな英語です。そうやって生まれる人とのコミュニケーションが、日本人や外国人という人種や国籍の違いを超えて、人と人がつながっていき、誰でも架け橋となれるのです。



## 事業報告① **ZOOM UP!** 交流会

3月6日、交流会を開催しました。これは、協会のサポーター（ボランティア）と市民を

対象にした事業で、登録サポーターが実際にどのような活動をしているかを紹介し、情報を共有することで、活動そのものを活発にしたり、活動に興味を持ったりすることを目的としています。

今回は、基調講演として、20年以上にわたって西アフリカのニジェールの支援を行っている一般社団法人コモン・ニジェール代表理事 福田英子さんに「十人十色のボランティア・ボランティアの向こうにあるもの」と題して講演いただき、続いて、各サポーターから活動紹

介、そして興味のある活動を聞きに行く座談会を行いました。

今回発表いただいた、福田さん、金内さん、寺田さん、服部さん、大泉さん、桑原さん、冠木さん、牧原さん、松永さん、小林さん、佐藤さん皆さんに感謝いたします。



## 事業報告② **ZOOM UP!** 田植え体験

5月15日、JAつくば市様の支援を受けて、田植え体験を行いました。

参加したのは、つくば市国際交流協会で日本語講座を受講している受講生と英語観光ボランティアガイド研修者の20名で、場所はつくば市玉取にある沢辺さんの田んぼをお借りしました。参加者の殆

どは初めての体験で、日本の農業について話を聞いた後、素足で田に入り、泥のひんやりと冷たくヌルヌルした感触に歓声を上げながら一列に並び、手で植えていきました。およそ1時間で20mを植えました。9月には稲刈りも行う予定です。お土産に甘くて、とても美味しいトマトと帽子をいただきました。5月20日の常陽新聞にも掲載されました。



# Reports

## 梅まつり

筑波山梅林で行われている筑波山梅まつりに、筑波梅林ジオツアーとして日本語講座受講生と英語観光ガイドボランティアが参加しました。梅林だけでなく、筑波山の成り立ちや岩石についての説明などがあり、参加者は景色を楽しみながら、盛んに質問をしていました。ジオツアーという事でつくば市国際交流協会の小玉理事長も専門家として参加しました。



## 日本語講師養成講座

日本語教室で講師をしていただくため、日本語ボランティア講師養成講座を開催しました。「日本語が話せる≠日本語を教えることができる。」という事で、日本語を教えるとはどういう事か、実際に教える方法などを実践形式で行いました。今回は受講者のうち6名の方が4月からの講座に講師として参加していただいています。

## インドネシア 中学生によるホームステイ

2016年3月11日～13日の期間で、インドネシアジョグジャカルタの私立モハマディア2中学校の生徒たちが筑波学院大学との間で行われる研修プログラムの一環としてホームステイプログラムを体験しました。各家庭でのもてなしの他にも、つくば市内では、JAXAやエキスポセンター、産業総合研究所等の研究施設訪問や、皇居や秋葉原、東京スカイツリーなど東京方面も観光し、充実した日本滞在経験になったそうです。

# Notice Board

## つくば市国際交流協会 賛助会募集!

賛助会では、当協会の活動の趣旨にご賛同いただけるみなさまからの資金面でのご支援を募っております。

### 賛助会費

個人:1口 2000円/年 団体:1口 10,000円/年

法人:1口 20,000円/年

平成28年度賛助団体及び法人(平成28年8月1日現在)(敬称略)

JCOS、TIVONAの会、星田建設工業株式会社、(株)相澤建築設計事務所、(株)大和田建設、(株)高田工務店、浅野物産(株)、医療法人健佑会、(有)丸市物産、(有)光測量設計

※その他運営面を支援いただく各種ボランティアも募集しています。詳しくは当協会HPをご覧ください。



加入記念グッズは「たためるマチ付きトートバック」5色。お好きなカラーをお選び下さい。

## 医療通訳養成講座(10月開催)のお知らせ

つくば市国際交流協会では、外国人の方が母語で診察を受け、安心して病院で治療ができるように医療通訳ボランティアの養成・派遣を行っています。医療通訳ボランティアに関心のある方、実際に活動したい方をお待ちしています。

### ◆日時:

一般コース:2016年10月1日(土)

通訳コース:2016年10月1日(土)、9日(日)、23日(日)の全3回

◆場所:つくば市役所 2階会議室

◆参加費:無料

### ◆対象者:

一般コース:医療通訳に興味のある方(言語は問わず)、医療関係者、行政関係者等

通訳コース:・全3回受講できる方

・日本語及び募集4言語いずれかで医療通訳を行える方。

・選考合格後、協会に医療通訳ボランティアとして登録・活動できる方。(病院開業時間に通訳活動ができる方)

・選考合格後、協会が実施する勉強会に参加できる方

### ◆募集人数:

一般コース:80名(通訳コースを含む)

通訳コース:英語6名、中国語20名、スペイン語20名、ポルトガル語20名

※通訳コースで募集人数を大幅に上回る場合には、申込用紙の記載事項に基づき、受講者を決定させていただく場合がございます。

### ◆言語能力の目安

【英語】TOEIC850点以上もしくは英検準1程度

【中国語・スペイン語・ポルトガル語】日本語及び該当言語で医療通訳が行える、または期待できる方。

【全言語共通】日本語能力検定1級程度

編集・発行



(一財)つくば市国際交流協会

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻1-10-1 つくばイノベーションプラザ内

TEL:029-869-7675 FAX:029-852-5513

ホームページ: <http://www.inter.or.jp/index.htm> メールアドレス: [info@inter.or.jp](mailto:info@inter.or.jp)